

年頭のごあいさつ



黒潮町長
大西 勝也

一つ迅速に対応していくことで、近い将来、必ず起こる南海トラフ地震への備えとしなければなりません。東日本大震災の記憶を風化させることなく教訓とし、引き続き、官民協働の防災対策をしっかりと進めてまいります。

ては、引き続きご指導をよろしく
お願いいたします。

さて、本年は、政府の掲げる経済政策『アベノミクス』の3本目の矢・成長戦略の柱となる『地方創生』が本格的に始動する年とな

本町が抱える課題は、産業から教育に至るまで多岐にわたり、どれ一つをとりましても簡単に解決できる課題ではありません。しかし、あの衝撃的な34mの新想定にも決してあきらめず、住民の皆さんと協働で進めてきました防災対策を参考に、引き続き先人への感謝と将来世代への責任を忘れず、

官民協働で一步一步

住民の皆さん
とともに一歩
一歩、歩みを
進めていきたく
と思います。

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、平成27年の新春をさわやかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。
また、平素より町政推進に対する温かいご支援ならびにご協力に心より厚く御礼申し上げます。

昨年は当町にとりまして近年にない災害の年となりました。幸い人的被害は出ませんでした。相次いだ台風襲来に伴い各所でインフラ被害が発生、産業面では農地、農業用施設に大きな被害をもたらしました。自然の猛威に脅威を感じながらも、こうした災害に一つ

ります。昨年末には地方創生関連法が成立。今後は地方発展に向け、地方自身の力量が大きく問われることとなります。これまで進めてまいりました雇用の場の創出、産業支援、福祉ネットワークの構築、防災対策、教育の充実をもとに、だれもが住み慣れた地域で健康と笑顔で暮らせる黒潮町の実現に、職員一同全力で取り組んでまいります。住民の皆さまにおかれま

住民の皆さまにおかれましては、寒さ厳しい折、お身体を十分ご自愛いただき、町政発展のため、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、今年1年が皆さまにとりまして平穏で幸せな年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。